

農業支援ファンドが3件投資

ファンド運営会社のドーガン・インベストメンツ(福岡市)は31日、運営する農業支援ファンド「アグリクラスターファンド」が、鹿児島県の農業関連3社に投資したと発表した。

投資を受けたのは、松原養鶏場(同県南九州市)が2億5000万円、農業生産法人アグリ太陽(鹿児島市)が3000万円、畜産業者の錦江ファーム(同市)が1億円。いずれも社債引き受けで、償還期間は5-7年。3社は運転資金などに利用する。

同ファンドには、鹿児島銀行(鹿児島市)など、鹿児島県の6社が出資。南九州に拠点を置き、国際競争力のある農作物づくりを目指す企業などに投資している。

松原養鶏場と錦江ファームは、国連食糧農業機関の国際規格に沿った生産管理を進めるなど、先進性が評価された。アグリ太陽は、同ファンドに出資するスーパー、タイヨー(同市)が設立した農業法人で、全国でも珍しい流通企業による農業生産の取り組みが評価された。

今回の投資で、同ファンドの投資総額は5億8000万円になる。

農業関連向け投資3件実施

鹿児島銀行系ファンド

鹿児島銀行などが出資した農業関連向けファンド「アグリクラスターファンド」は31日、3件の投資を実施したと発表した。投資先は松原養鶏場(鹿児島県南九州市)、投資額2億5000万円と農業生産法人のアグリ太陽(鹿児島市、同3000万円)、錦江ファーム(同、1億円)。それぞれ設

備投資や運転資金として活用する。

鹿児島3社に3億8000万円

アグリファンド

南九州の農業関連産業を支援するため、鹿児島銀行などが設立したアグリクラスターファンドは、新たに3社、計3億8000万円の投資先を決め、三十一日実行した。松原養鶏場(南

九州市)に二億五千万円、錦江ファーム(鹿児島市)に一億円、アグリ太陽(同市)に三千万円。いずれも社債を引き受け、五-七年で回収する。

ファンドを運営するドーガン・インベストメンツ(福岡市)によると、松原養鶏場は五十四万羽を飼育し、且

ACCIP導入、かこしまの農林水産物認証の取得など商品や安全性の評価が高い。錦江ファームは、肉用牛の個体管理を徹底しており、生産情報公表牛肉日本農林規格(JAS)認証などを取得しているという。アグリ太陽は一月に夕

トマトなどハウス栽培し、生産者育成や地産地消に取り組む。ファンドは地元七企

業とドーガン社が総額七億円を出資。昨年八月に設立され、十一月

に有田農産(大崎町)に二億円を出資してい

た。さらに投資先の選

定をすすめる。